

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	Chico Bote Dos		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日 ～ 2025年 3月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日 ～ 2025年 3月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職の言語聴覚士、作業療法士、心理士が在籍しており、専門的な療育を提供できること。	保護者の方と月1回面談を行い、お子さまの様子や保護者の方の要望をお聞きしています。その後、その内容を職員で情報共有し対応策を考えている。	今後も保護者の方と職員との間で情報共有をし、それに応じた形の支援を提供していく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所と事業所外との交流がそれ程多くはないこと。	利用者が増え、職員は日々の業務に邁進しているため、時間の確保が難しい。	可能な限り時間を作り交流できる機会を設けていくこと。
2			
3			

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 Chico Bote Dos

公表日 2025年 4月 30日

利用児童数 2025年 3月 21日 回収数 25

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	1				環境設定を工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2				十分に配置していますが日により差がないように努力していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1				更に職員間の共通理解を深め支援させて頂くようにしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1				更に分かりやすい説明を付け加えさせて頂くように努力していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1				様々な取り組みを行い保護者の方にお伝えできるようにしていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	10	3			今後の課題とさせて頂きます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	1	1			契約時に丁寧に説明させて頂くようにしていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1				説明をさせて頂いていますが今後も更に丁寧に説明を行います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24	1				月に1回の面談の継続とフィードバックなど充実させていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1				月1回の面談を引き続き行い対応できるようにしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	9	1			月1回程度、専門職の講座や親子参加型のイベントを開催しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2				相談申し入れの体制が整っていることを周知して頂けるようにしていきます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制が	24	1				ホームページ、Instagram、写真、毎月のおたよりで発信させて頂いています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	1				細心の注意を行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	7				マニュアルの周知に努めています。避難訓練は実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	7				定期的に行っておりませんが、周知の方法を検討していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	3				保護者の方への周知方法を検討していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	4				事故やケガが発生した際にはこれまで以上に丁寧に対応させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1				全員のお子さんに安心感を持って通所できるように関わりを深めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	1				全員の方に楽しんで頂けるように支援内容など工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1				今後、全員の方に満足して頂けるように取り組んでいきます。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
Chico Bote Dos		2025年 4月 30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		十分なスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		指定基準を満たしており、加配職員も配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		完全なバリアフリーは難しいですが利用者さんに合わせて対応していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		日頃から清潔な環境を整えられるように心がけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		個別の部屋やロールスクリーンで仕切られた空間を作っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	会議に出席できない職員には記録で確認できるようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		職員間で共有し改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎日の朝礼と木曜日の朝に会議を開催しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		今後の課題とします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		事業所内での研修や虐待防止など定期的に実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		適切に作成、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		保護者の方とも月1回面談を行い、職員間では木曜日の午前や面談後に会議や情報共有を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		職員間では木曜日の午前や朝礼、面談後に会議や情報共有を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		職員間で確認を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		アセスメントシートを活用し、発達検査も必要に応じ実施し結果もアセスメントに活かしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		児童発達支援ガイドラインに基づき支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		専門家や職員が独自に発案したプログラムを用いて適切な療育方法を検討しプログラムを実施しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		手指・運動・言語・ルール遊びなど様々なプログラムを組み合わせ実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		お子さんの発達段階に応じた、個別活動、小集団活動を組み合わせ支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日朝礼を行い、その日の支援内容などの打合せ、前日の振り返りを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	終了後には全員での振り返りではなく担当者の振り返りをしています。今後、全体の振り返り日を設定していきます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日々の記録は毎日記録し、内容を共有し改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		モニタリングを定期的に行い、支援内容の見直しの必要性など検討しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		利用者様に精通した職員と児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		必要に応じて各関係機関と連携を図り、情報共有を行います。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	保護者・園側の要望に応じて情報共有や訪問、電話対応し相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	3	保護者の要望に応じて療育報告書を作成したり、発達検査を行い、報告書の作成、ご説明をしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	0	9		今後の課題とします。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	ケース会議や公園で地域の子どもと交流する機会があります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		お迎えの時その日のフィードバックを行ったり、月1回保護者との面談を設けたりして、密に情報交換をしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		心理士や言語聴覚士、外部から理学療法士の方に保護者の方向けのセミナーを定期的に行っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約の際に行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		保護者との面談で意向を確認しています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		児童発達支援の個別支援計画書の支援内容を説明し同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		月1回の面談を保護者の方で行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	イベントの際、保護者交流会を開き、交流の場を設けています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		相談や申し入れがあった際は、電話や面談にて対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月おたよりを出したり、SNSで日々の様子や情報の発信をしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		十分留意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		絵カードや見通しカードなどを用い、視覚支援を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	以前近隣の老人ホームへ訪問し、地域に開かれた運営を図ったことがあります。	今後も課題としていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		利用者と避難訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		利用者と避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		契約時にお子さまの状況をお聞きし、対応方法を確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		指示書を職員間で共有し見えやすい所に貼っています。また別室でおやつを食べたり療育室に掃除機をかけたりしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全確認がされた療育室にて支援が行われています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		契約時に家族の連絡先を確認したり、気を配るべき事柄を聞き取りし、その取り組み方法を家族へ周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		改善策を含め、文章化し共有しています。また目を通した人はサインをするようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待に関する研修を定期的に行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1	職員は事業所内で研修を受けています。	これまで身体的拘束はなされたことはないが、組織的な検討がなされていない為、今後の課題とします。